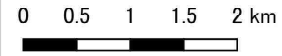
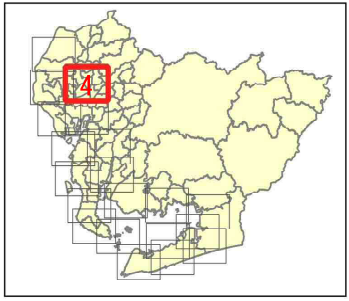
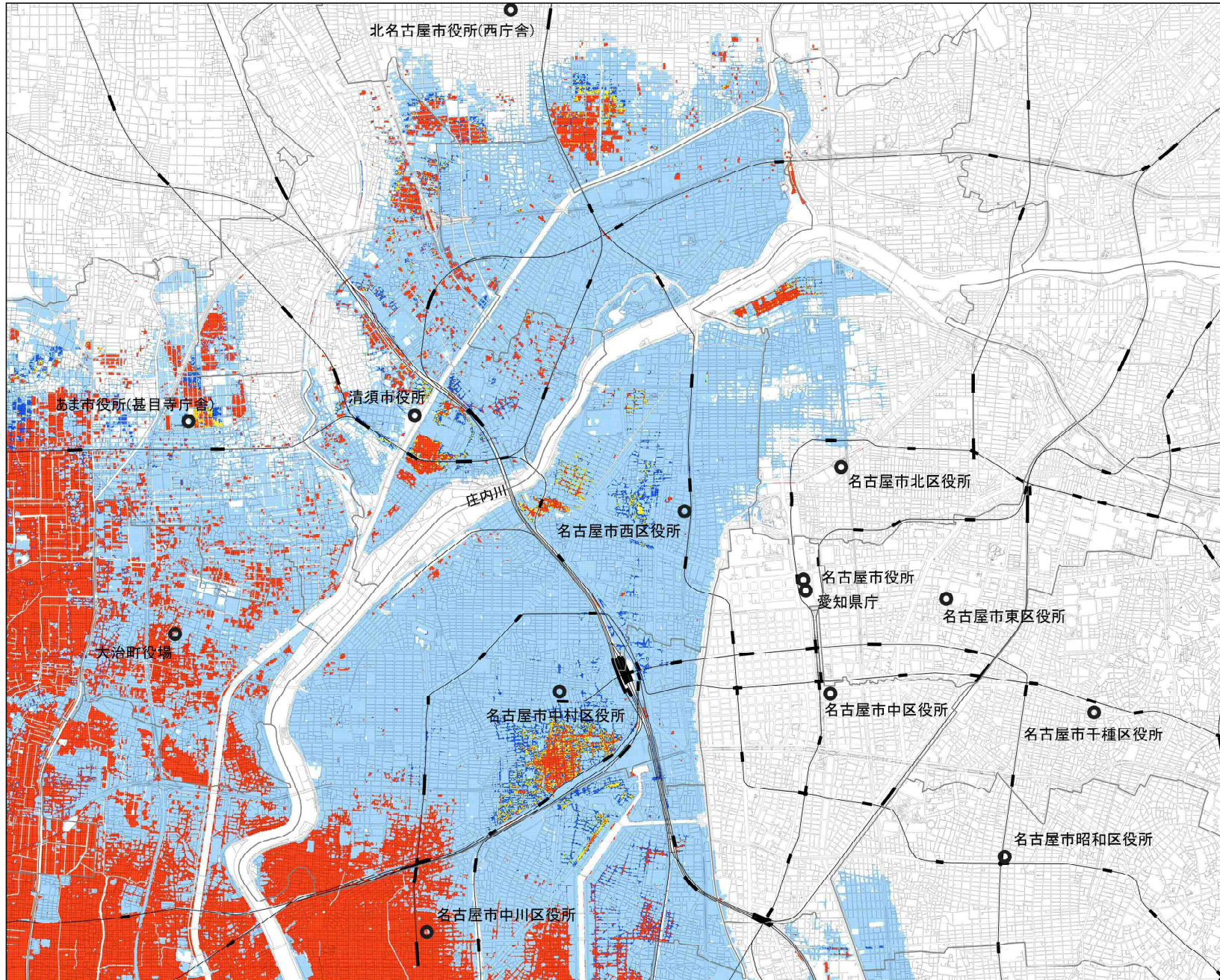


# 高潮浸水想定区域図(浸水継続時間)



この図郭に含まれる市区町村:千種区、東区、北区、西区、中村区、中区、昭和区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、守山区、春日井市、稲沢市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大治町

図面番号:04 / 20 1:50,000

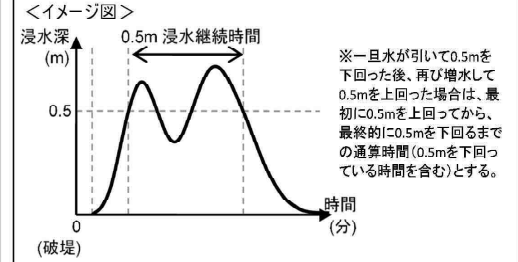


### 【留意事項】

- この図は、三河湾・伊勢湾沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、0.5m以上の浸水が想定される区域、想定される浸水継続時間を表示した図面です。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、日本に上陸した既往最大台風である「室戸台風」により、県内各地区に大きな影響を与える複数の経路を設定し、堤防・水門等は設計条件に達した段階で決壊するものとして、高潮シミュレーションを実施しています。
- 高潮浸水想定区域図は、地面の高さを基準とした浸水深を示したものであり、地下空間の浸水については反映していませんが、実際には、高潮が地下空間に流入する場合があります。
- 道路のアンダーパスや造船所のドック等、周辺の土地より極端に地盤が低い箇所では、局所的に浸水深が深くなります。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、国直轄河川及び県管理河川のうち、基本高水流量1000m<sup>3</sup>/s以上の河川については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上等により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- 高潮浸水想定区域図では、高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水(内水)が発生すること等、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- 現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。
- 確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町村が作成するハザードマップ等を活用してください。

### 【用語の解説】

浸水継続時間: 0.5m以上の浸水が継続する時間



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用したものである。(承認番号:測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs1214)